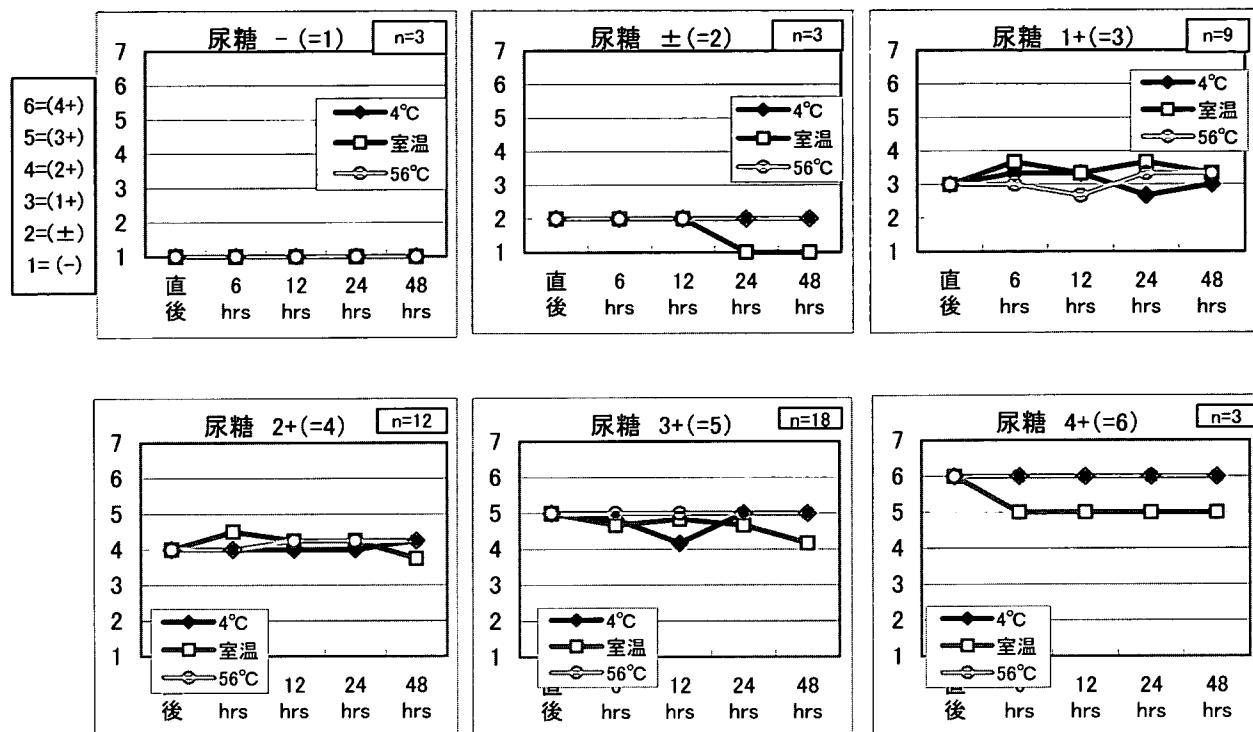
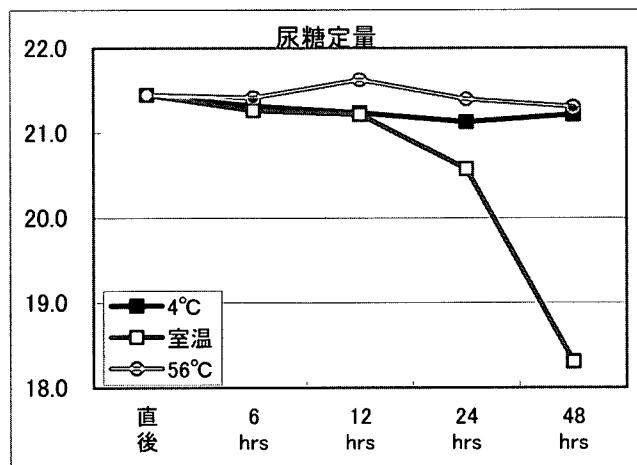


f-3 尿糖定性(半定量)(4°C、室温、56°C)



尿糖定性(半定量)は、4°C保存で48時間まで安定している。室温保存では陽性のデータについて6時間からやや不安定になり、(4+)のデータでは6時間後に平均値で(3+)まで低下している。56°Cでは変動が小さい結果となっている。

f-4 尿糖定量(4°C、室温、56°C)



尿糖定量値の保存温度については、12時間まではほとんど変化は見られないが、わずかに変動している。4°Cと56°C安定し、48時間まで変化が見られない。室温では24時間値からは低下傾向がみられ、48時間で大きく低下している。

3. 検討テーマ毎、項目毎のまとめ

a 食事の影響

a-1 食後時間の影響、朝食の影響

ー:影響なし、△:やや影響あり、×:影響あり、?:判断できず、*:判断条件あり

	食後hrsの影響		朝食の影響	
	食後 9hrs	食後 10hrs	食後 3hrs	食後 6hrs
AST	—	—	—	—
ALT	—	—	—	—
γ-GTP	11時間値を 参照値と して評価	—	—	—
TG	△	—	×	—*
HDL-C	—	—	—	—
LDL-C	—	—	—	—
Glu	—	—	×	×
HbA1c	—	—	—	—

【コメント】

(1) 食後9~11時間値の調査

食後9~11時間値の調査については、11時間をベース(参照値)として10時間、9時間の値の変化を見ることを目的としているが、TGの9時間がやや高めになっている以外は、他の項目についての変化は認められていない。TGの9時間値の高値の解釈については、次に述べる『朝食の影響』と関連付けて見なければならない。

(2) 朝食の影響(食後3~6時間)の調査

①TGと血糖以外については、影響がみられない。

②TGについては、食前を参照値とするが、食後3時間で上昇がみられ、6時間後では食前より低下が認められる。すなわち、3~6時間で食前に近い値となる時間が存在することになるわけで、6時間値では、擬陰性に判定される可能性が生じる。しかしながら、健診判定における目的が『脂質異常症』の発見にあるとすれば、脂質異常症者は、健常者と異なる推移パターンが予想され、6時間後に大きく低下し、基準値範囲になるとは言えないので、判定目的によっては、6時間後でも支障がないという判断をすることもできる。上記(1)の食後9時間でやや高いということは、6時間値で既に低下しているわけであるから、食事による直接的な影響として高値になっているという判断はできない。TG値の1日のデータの消長(日内変動)は、健常者においては食事以外の影響として、circadian rhythm を考慮しなければならない(個人の生活リズムや採血時刻など)。

③血糖については、朝食の影響は3時間、6時間共に低値として影響が見られる。今回のデータは、健常者とみなされるデータであり、糖代謝機能が正常に働いていることによるものと考えられる。健常者は約60分付近がピークとなり、DMでは約90分値がピークとなり、健常者は糖負荷をしてもIGTやDMのように、データは上昇しないことが知られている。健常者は120~150分後には空腹時に近い値になると予想され、3時間値で大きく低下状況を食事の影響とみなすかどうかについては、議論の余地がある。

血糖値の判定については、食後による上昇影響が一般的に問題とされているが、判定の目的が『糖代謝異常』の発見にあるのであれば、“食後時間”という情報と組み合わせることによって、データの活用が可能と思われる。

④上記TGと血糖については、分散分析、共分散分析の有意差検定も行い、補助的に利用した。

(3) 対策

- ① TGは、早朝健診においては空腹時が必要となるが、朝食を摂った方については、午後採血で影響が緩和される。
- ② 血糖は、食後時間を健診情報の一つとして組み込めば、それを踏まえた判定基準を策定することができると思われる。午後健診では、朝食の影響はないと考えられる。
- ③ TGの食後影響については、3~6時間の間について時間を分割すること、例数を増やすこと、脂質異常症の人も加えた実験によって、より指標が明確になる。
- ④ 血糖については、食前から3時間以内の時間を分割すること、例数を増やすこと、糖代謝異常の人も加えた実験により、判断指標が明確になる。また、食後者については血糖ではなく、HbA1cを利用することにより、問題が解決される。

a-2 軽食、和食、洋食の差異

ー;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		軽食		洋食		和食	
		食後 3hrs	食後 6hrs	食後 3hrs	食後 6hrs	食後 3hrs	食後 6hrs
AST		—	—	—	—	—	—
ALT		—	—	—	—	—	—
γ-GTP	食前を 参照値と して評価	—	—	—	—	—	—
TG		×	—	×	—	△	—
HDL-C		—	—	—	—	—	—
LDL-C		—	—	—	—	—	—
Glu		×	△	×	△	△?	△
HbA1c		—	—	—	—	—	—

【コメント】

(1) 軽食、和食、洋食の差異の調査結果

当データは山形大学4名の分析結果である(例数が少ない)。TGと血糖以外の項目については、食事の種類による影響は認められない。TGと血糖については、食事の種類によらず、食後時間の影響が認められる。TGは食後6時間値については、ここではほとんど影響が見られていないが、上記「朝食の影響」の検討テーマの他施設を含めた朝食後6時間値は低下しており、食後6時間値についての評価は今後の検討課題となる。

(2) 今後の検討課題

TGや血糖値における食後時間の関係については、食事の種類、カロリーの許容範囲の検討が必要である。仕事をするために食事をして出勤し、健診を受ける、しかしながらデータへの影響を最小限に留められる『健診食』の要件を見出すことが重要と考える。

b 採血から遠心分離までの時間

b-1 室温保存による経時変化

ー;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		6hrs	12hrs	24hrs	48hrs
AST		—	△	×	×
ALT		—	—	—	—
γ-GTP	直後を 参照値と して評価	—	—	—	—
TG		—	—	—	—
HDL-C		—	—	△	×
LDL-C		—	—	—	—
Glu		×	×	×	×
HbA1c		—	—	—	—

【コメント】

室温では、AST、HDL-C、Gluについて影響がみられ、それ以外の項目は影響がない。

ASTについては、採血から遠心分離までの放置時間は6時間以内、HDL-Cは12時間以内が望ましい。

(当データの血糖については、解糖阻止剤を用いていないと思われる。血清血糖では、6時間値において既に有意に低下しており、データの利用はできない。)

b-2 4°Cと室温保存による経時変化の比較

ー;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		6hrs		12hrs		24hrs		48hrs	
		4°C	室温	4°C	室温	4°C	室温	4°C	室温
AST		—	—	—	△	—	×	—	×
ALT		—	—	—	—	—	—	—	—
γ-GTP	直後を 参照値と して評価	—	—	—	—	—	—	—	—
TG		—	—	—	—	—	—	—	—
HDL-C		—	—	—	—	—	△	—	×
LDL-C		—	—	—	—	—△	—	△	—
Glu		×	×	×	×	×	×	×	×
HbA1c		—	—	—	—	—	—	—	—

【コメント】

当データは、昭和大学のデータ 男性2名、女性2名について、4°Cと室温を比較している。

(上記b-1と対象データが異なっていることに留意。)

①4°C保存では、Gluについて影響がみられ、それ以外の項目は影響がない。

②室温では、Gluで6時間で影響があり、ASTとLDL-Cでは12時間においてわずかな上昇が見られ、ASTは24時間では有意に上昇している。

③要約すると、4°Cでは血糖を除き、48時間まで有意な変化はみられないで、結論的には、4°C保存が望ましく、室温保存においては6時間以内にする必要がある。

c 振動の影響(振盪せず、5分間の振盪)

—;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		振盪 5分
AST		—
ALT		—
γ-GTP	振盪せずを 参照値と して評価	—
TG		—
HDL-C		—
LDL-C		—
Glu		—
HbA1c		—

【コメント】

振動の影響は、振盪せずと5分間の振盪では、差がみられなかった。

d 分離から分析までの時間の影響(4°C、室温)

—;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		24hrs		48hrs		72hrs	
		4°C	室温	4°C	室温	4°C	室温
AST		—	—	—	—	—	—
ALT		—	—	—	△	—	×
γ-GTP	直後を 参照値と して評価	—	—	—	—	—	—
TG		—	—	—	△	—	△
HDL-C		—	△	—	△	—	△
LDL-C		—	—	—	△	—	△
Glu		—△	—△	—△	—△	—△	—△
HbA1c		—	—	—	—	—	—

【コメント】

分離後の保存温度は、血糖を除き、全体的に4°C保存の方が安定している。

血糖については、4°C、室温共に24時間値でわずかに低下がみられ、48時間でリバウンドしていることから、24時間値の低下は系統性がないため、有意な低下ではない。件数を増やすことによって24時間値の低下は実際はもっと小さくなると推測される。

結論としては、4°C保存であれば、血糖でわずかな下降が見られるが、72時間まで影響はない。

e 血糖管におけるNaFの溶解条件

Glu

—;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		6hrs		24hrs		48hrs	
		4°C	室温	4°C	室温	4°C	室温
0回	直後を 参考値	×	×	×	×	×	×
2回		×	×	×	×	×	×
5回	と して評 価	×	×	×	×	×	×
10回		—	×	×	×	×	×

【コメント】

当データは、冷蔵(4°C)保存分は昭和大学のデータを使用しているが、室温保存については、浜松医科大学のデータを除いた施設の男女を合わせたデータを使用している。
室温では解糖阻止ができないので、冷蔵保存が必要で、6時間以内に検査を行うことが望ましい。

HbA1c

—;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		室温		
		6hrs	24hrs	48hrs
0回	直後を 参考値	—	—	—
2回		—	—	—
5回	と して評 価	—	—	—
10回		—	—	—

【コメント】

HbA1cは、転倒回数によらず、24時間、48時間でごくわずかに上昇しているが、ほとんど変化のないデータと判断する。

f 尿検体の保存

f-1 尿蛋白定性(半定量)(4°C、室温、56°C)

ー;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		6hrs	12hrs	24hrs	48hrs
4°C	直後を 参考値とし て評価	—	—	—	—
室温		×	×	×	×
56°C		—	—	—	—

【コメント】

室温保存ではやや不安定であり、(4+)のデータでは6時間値が平均で(2+)まで低下している。
4°C、56°Cにおいても48時間まで変化はみられないが、4°C保存が望ましい。

f-2 尿蛋白定量(4°C、室温、56°C)

ー;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		6hrs	12hrs	24hrs	48hrs
4°C	直後を 参考値とし て評価	—	—	—	—
室温		—	—	—	×
56°C		—	—	—	—

【コメント】

4°Cと56°C保存では48時間まで安定している。室温保存では24時間以内が望ましい。

f-3 尿糖定性(半定量)(4°C、室温、56°C)

ー;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		6hrs	12hrs	24hrs	48hrs
4°C	直後を 参考値とし て評価	—	—	—	—
室温		×	×	×	×
56°C		—	—	—	—

【コメント】

尿糖定性(半定量)は、4°C、56°C保存では48時間まで安定している。室温保存では6時間に
おいても不安定なので、避ける方が望ましい。

f-4 尿糖定量(4°C、室温、56°C)

ー;影響なし、△;やや影響あり、×;影響あり、?;判断できず、*;判断条件あり

		6hrs	12hrs	24hrs	48hrs
4°C	直後を 参考値とし て評価	—	—	—	—
室温		—	—	△	×
56°C		—	—	—	—

【コメント】

尿糖定量は、4°C、56°C保存では48時間まで安定している。室温保存では24時間値に変動が
みられるので、12時間以内にすることが望ましい。

4. 要約

(1) 採血時の条件

全般的に影響をどのように評価するか、ということについて、個人値の変動(生理的変動)幅*からの許容範囲、判定の目的から見た判定基準値の設定方法、食後時間情報の活用による判定基準値の設定方法などの関連を考える必要がある。

ここでは、それらの議論にまで及ぶことができないので、定性的な視点で判断をしている。

①TGと血糖を除いては、食事の影響は考慮しなくてよい。

②TGは、早朝健診においては空腹時が必要となるが、朝食を摂った方については、午後採血で影響が緩和される。

TGの食後影響については、3~6時間の間について時間を分割すること、例数を増やすこと、脂質異常症の人も加えた実験によって、より指標が明確になる。

③血糖は、食後時間を健診情報の一つとして組み込めば、それを踏まえた判定基準を策定することができると思われる。午後健診では、朝食の影響はないと考えられる。食後者については血糖ではなく、HbA1cを利用することにより、問題が解決される。食前から3時間以内の時間を分割すること、例数を増やすこと、糖代謝異常の人も加えた実験により、判断指標が明確になる。

④TGや血糖値における食後時間との関係については、食事の種類、カロリーの許容範囲の検討が必要である。仕事をするために食事をして出勤し、健診を受ける、しかしながらデータへの影響を最小限に留められる『健診食』の要件を見出すことが重要と考える。

(2) 採血後の検体の取り扱い

① 血清分離までの時間

血清分離は6時間以内が望ましい。保存温度は4°Cが望ましい。

② 振動の影響

振動はあまり関係ない。

③ 分離から分析までの時間

4°C保存であれば、血糖でわずかな下降が見られるが、72時間までほとんど影響はない。(分離を早くしておけば、保存性が良くなる。)

④ 血糖管におけるNaFの溶解条件

血糖は解糖阻止剤を必ず使用し、転倒回数は10回、4°C保存で6時間以内に行うことが望ましい。

(血糖については、食後影響の解釈の問題や検体の取り扱いに様々な注意がいるので、HbA1cでは、これらの問題が解決する。)

⑤ 尿検体の保存

尿蛋白定性及び尿糖定性については、健診現場で検査を行うか、4°C保存で行う必要がある。

尿蛋白定量及び尿糖定量については、室温保存では24時間以内、または4°C保存で行う必要がある。

* 生理的変動幅(日臨技)

項目	生理的変動幅(SD)	1/2SDw	項目	生理的変動幅(SD)	1/2SDw
AST	3. 0U/l, 37°C	1.5	クレアチニン	0. 06mg/dl	0.03
ALT	4. 2U/l, 37°C	2.1	Na	1. 8mEq/l	0.9
ALP	7. 4U/l, 37°C	3.7	K	0. 23mEq/l	0.11
LD	16. 0U/l, 37°C	8	Cl	1. 8mEq/l	0.9
γ-GTP	2. 6U/l, 37°C	1.3	総コレステロール	12. 3mg/dl	6.1
CK	33. 4U/l, 37°C	16.7	中性脂肪	25. 9mg/dl	12.9
グルコース	4. 1mg/dl	2	HDL-C	3. 82mg/dl	1.91
総蛋白	0. 26g/dl	0.13	LDL-C	9. 83mg/dl	4.92
尿素窒素	2. 1mg/dl	1.0	CRP	0. 16mg/dl	0.08
尿酸	0. 5mg/dl	0.25			

1 山形大学の生データ

表1 前日夕食後の空腹時間の測定値に及ぼす影響

I-a.-i 空腹時間

		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c	
食後9時間	男1	25	26	26	113	64	121	101	5.0	男1 食後9時間
食後9時間	男2	20	20	19	41	66	129	96	5.5	男2 食後9時間
食後9時間	女1	13	11	5	37	79	95	95	5.0	女1 食後9時間
食後9時間	女2	19	19	10	34	71	107	100	5.2	女2 食後9時間
食後10時間	男1	26	28	25	98	68	124	91	5.0	男1 食後10時間
食後10時間	男2	18	20	19	39	67	130	87	5.5	男2 食後10時間
食後10時間	女1	15	13	4	39	83	97	85	4.9	女1 食後10時間
食後10時間	女2	20	20	10	32	71	108	95	5.3	女2 食後10時間
食後11時間	男1	26	28	29	116	69	129	91	4.9	男1 食後11時間
食後11時間	男2	18	19	18	36	67	130	85	5.3	男2 食後11時間
食後11時間	女1	15	12	6	39	81	94	88	4.9	女1 食後11時間
食後11時間	女2	18	19	9	36	71	108	97	5.3	女2 食後11時間

表2 朝食の検査測定値に及ぼす影響

I-a.-ii 朝食の影響

軽食		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c	
食前	男1	26	25	52	203	89	151	83	4.6	男1
食前	男2	16	16	16	50	70	109	108	5.4	男2
食前	女1	21	17	17	106	61	162	97	5.6	女1
食前	女2	17	14	17	75	65	80	106	4.9	女2
食後3時間	男1	27	26	53	238	88	151	87	4.7	男1
食後3時間	男2	16	16	17	52	69	105	96	5.5	男2
食後3時間	女1	21	16	16	121	59	162	87	5.5	女1
食後3時間	女2	17	15	19	95	67	81	97	4.8	女2
食後6時間	男1	27	26	50	198	92	157	84	4.7	男1
食後6時間	男2	17	15	17	45	72	109	88	5.5	男2
食後6時間	女1	21	16	17	91	59	162	87	5.5	女1
食後6時間	女2	19	15	17	67	69	86	94	4.9	女2
洋食		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c	
食前	男1	19	22	49	194	69	137	117	5.5	男1
食前	男2	17	20	33	180	43	170	100	5.2	男2
食前	女1	17	13	11	53	79	140	89	5.2	女1
食前	女2	19	13	10	38	94	102	95	5.2	女2
食後3時間	男1	18	23	47	291	65	136	108	5.5	男1
食後3時間	男2	19	21	32	224	42	166	90	5.2	男2
食後3時間	女1	15	11	9	125	67	119	77	5.2	女1
食後3時間	女2	17	13	10	100	88	97	97	5.3	女2
食後6時間	男1	20	21	46	183	67	138	104	5.5	男1
食後6時間	男2	18	19	33	171	45	180	91	5.3	男2
食後6時間	女1	17	9	9	93	67	122	83	5.2	女1
食後6時間	女2	17	11	10	40	94	104	91	5.3	女2
和食		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c	
食前	男1	18	19	34	189	44	169	100	5.2	男1
食前	男2	17	17	26	97	42	100	104	5.1	男2
食前	女1	19	24	17	274	57	92	98	5.1	女1
食前	女2	17	14	21	102	67	105	90	5.0	女2
食後3時間	男1	19	23	34	229	44	169	100	5.2	男1
食後3時間	男2	18	18	24	86	42	97	101	5.2	男2
食後3時間	女1	18	25	18	160	60	96	98	5.0	女1
食後3時間	女2	18	16	20	101	64	105	97	5.0	女2
食後6時間	男1	18	21	33	184	44	172	96	5.2	男1
食後6時間	男2	18	17	25	77	45	99	89	5.2	男2
食後6時間	女1	20	24	18	121	66	107	89	5.1	女1
食後6時間	女2	18	15	20	80	66	107	90	5.0	女2

表3 採血から遠心分離までの温度と時間の測定値に及ぼす影響

I-b. 採血から遠心分離までの時間

		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c	
直後	男1	22	27	60	178	64	194	95	4.2	男1
直後	男2	34	24	26	100	58	76	154	4.7	男2
直後	女1	15	14	7	68	100	110	65	4.6	女1
直後	女2	13	9	17	82	75	101	140	4.7	女2
6時間	男1	23	28	61	182	65	190	75	4.3	男1
6時間	男2	36	24	25	96	56	72	117	4.8	男2
6時間	女1	17	14	8	71	102	113	53	4.8	女1
6時間	女2	14	10	17	81	72	99	115	4.8	女2
12時間	男1	22	28	61	178	65	188	79	4.3	男1
12時間	男2	38	26	28	102	59	78	131	4.9	男2
12時間	女1	16	13	6	69	95	103	55	4.8	女1
12時間	女2	14	9	16	83	74	102	120	4.8	女2
24時間	男1	24	27	64	183	66	189	78	4.3	男1
24時間	男2	36	24	28	95	58	76	132	4.9	男2
24時間	女1	18	12	8	64	97	104	55	4.8	女1
24時間	女2	14	10	18	80	74	103	121	4.8	女2
48時間	男1	22	27	64	186	70	196	81	4.3	男1
48時間	男2	36	24	27	92	61	78	127	4.9	男2
48時間	女1	15	13	9	68	107	112	54	4.8	女1
48時間	女2	14	9	18	80	78	103	120	4.9	女2

表4 検体の振動の測定値に及ぼす影響

I-c. 振動の影響

		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c	
振盪せず	男1	21	21	61	218	63	122	95	5.2	男1
振盪せず	男2	21	28	37	241	78	107	94	5.1	男2
振盪せず	女1	21	21	19	121	94	118	107	5.3	女1
振盪せず	女2	19	16	28	97	100	160	105	4.9	女2
振盪5分	男1	21	20	61	220	63	123	95	5.2	男1
振盪5分	男2	22	28	39	234	78	107	91	5.1	男2
振盪5分	女1	23	21	19	123	96	119	106	5.3	女1
振盪5分	女2	21	16	30	96	98	159	106	4.9	女2

表5 血清分離から分析までの温度と時間の測定値に及ぼす影響

I-d. 分離から分析までの時間

条件		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c		
直後	男1	25	33	61	426	42	121	105		男1	直後
直後	男2	25	37	22	147	55	120	100		男2	直後
直後	女1	14	10	14	71	69	86	89		女1	直後
直後	女2	15	12	7	51	97	82	77		女2	直後
24時間	4°C	男1								男1	4°C
24時間	4°C	男2								男2	4°C
24時間	4°C	女1								女1	4°C
24時間	4°C	女2								女2	4°C
24時間	22°C	男1	26	35	68	446	42	123	100	男1	22°C
24時間	22°C	男2	25	38	22	150	54	116	107	男2	22°C
24時間	22°C	女1	12	10	14	70	67	86	91	女1	22°C
24時間	22°C	女2	14	13	8	49	91	79	77	女2	22°C
48時間	4°C	男1								男1	4°C
48時間	4°C	男2								男2	4°C
48時間	4°C	女1								女1	4°C
48時間	4°C	女2								女2	4°C
48時間	22°C	男1	24	31	62	402	34	109	94	男1	22°C
48時間	22°C	男2	26	36	21	144	53	116	106	男2	22°C
48時間	22°C	女1	13	10	12	67	68	84	92	女1	22°C
48時間	22°C	女2	14	11	8	47	89	78	76	女2	22°C
72時間	4°C	男1								男1	4°C
72時間	4°C	男2								男2	4°C
72時間	4°C	女1								女1	4°C
72時間	4°C	女2								女2	4°C
72時間	22°C	男1	24	30	59	392	30	108	101	男1	22°C
72時間	22°C	男2	26	—	21	141	52	118	110	男2	22°C
72時間	22°C	女1	13	10	13	66	68	83	95	女1	22°C
72時間	22°C	女2	16	14	7	52	99	91	76	女2	22°C

プロトコールには4°Cの検討が記載されていないので未実施です

56°Cでの測定

07/07/13	M1 24H	6	2	8	427	12	82	97		
07/07/13	M2 24H	15	4	4	152	28	133	106		
07/07/13	W1 24H	5	3	<3	70	48	96	93		
07/07/13	W2 24H	7	3	<3	53	81	98	77		
07/07/13	M1 48H	<1	<1	<3	411	<5	52	94		
07/07/13	M2 48H	3	1	<3	157	<5	144	99		
07/07/13	W1 48H	2	<1	<3	69	6	115	98		
07/07/13	W2 48H	2	<1	<3	50	57	99	75		
07/07/13	M1 72H	3	3	<3	30	<5	<5	フノウ		
07/07/13	M2 72H	3	3	<3	150	<5	133	フノウ		
07/07/13	W1 72H	2	1	<3	47	<5	121	フノウ		
07/07/13	W2 72H	3	2	<3	24	<5	42	フノウ		

表6 血糖値におけるNaF混和条件が測定値に及ぼす影響

II. 血糖管におけるフッ化Naの溶解条件
転倒混和回数

GLU	0回	2回	5回	10回		
直後 男1	92	91	94	95	男1	直後
直後 男2	101	106	105	105	男2	直後
直後 女1	104	105	105	104	女1	直後
直後 女2	95	95	93	94	女2	直後
6時間後 男1	81	86	85	86	男1	6時間後
6時間後 男2	81	94	96	97	男2	6時間後
6時間後 女1	97	96	96	97	女1	6時間後
6時間後 女2	91	88	86	85	女2	6時間後
24時間後 男1	76	81	82	85	男1	24時間後
24時間後 男2	79	89	88	90	男2	24時間後
24時間後 女1	94	95	93	94	女1	24時間後
24時間後 女2	88	86	83	83	女2	24時間後
48時間後 男1	73	75	76	77	男1	48時間後
48時間後 男2	81	76	81	80	男2	48時間後
48時間後 女1	93	93	92	92	女1	48時間後
48時間後 女2	89	85	84	83	女2	48時間後

GLU	0回	2回	5回	10回		
直後 男1	5.2	5.2	5.2	5.1	男1	直後
直後 男2	5.0	5.0	5.0	5.0	男2	直後
直後 女1	4.9	4.9	4.9	4.9	女1	直後
直後 女2	5.1	5.1	5.1	5.1	女2	直後
6時間後 男1	5.1	5.0	5.1	5.1	男1	6時間後
6時間後 男2	ギョウコ	5.0	5.0	5.0	男2	6時間後
6時間後 女1	4.8	4.9	4.8	4.8	女1	6時間後
6時間後 女2	5.1	5.1	5.1	5.1	女2	6時間後
24時間後 男1	5.2	5.2	5.2	5.1	男1	24時間後
24時間後 男2	5.0	5.1	5.1	5.0	男2	24時間後
24時間後 女1	4.9	4.9	4.9	4.9	女1	24時間後
24時間後 女2	5.2	5.1	5.2	5.1	女2	24時間後
48時間後 男1	5.1	5.1	5.2	5.2	男1	48時間後
48時間後 男2	5.0	5.0	5.0	5.1	男2	48時間後
48時間後 女1	4.9	4.9	4.9	4.9	女1	48時間後
48時間後 女2	5.2	5.2	5.2	5.2	女2	48時間後

表7 尿検体の保存の影響

III. 尿検体の保存

蛋白 ブドウ糖						
直後		1.73	59.28			直後
直後		0.72	5.58			直後
直後		0.88	1.41			直後
直後		0.56	19.53			直後
6時間後	4°C	症例1	1.78	58.84	症例1	4°C
6時間後	4°C	症例2	0.72	5.56	症例2	4°C
6時間後	4°C	症例3	0.89	1.40	症例3	4°C
6時間後	4°C	症例4	0.57	19.47	症例4	4°C
6時間後	22°C	症例1	1.76	58.55	症例1	22°C
6時間後	22°C	症例2	0.72	5.58	症例2	22°C
6時間後	22°C	症例3	0.88	1.40	症例3	22°C
6時間後	22°C	症例4	0.57	19.53	症例4	22°C
6時間後	56°C	症例1	1.68	59.03	症例1	56°C
6時間後	56°C	症例2	0.71	5.69	症例2	56°C
6時間後	56°C	症例3	0.87	1.40	症例3	56°C
6時間後	56°C	症例4	0.56	19.54	症例4	56°C
12時間後	4°C	症例1	1.78	58.52	症例1	4°C
12時間後	4°C	症例2	0.72	5.52	症例2	4°C
12時間後	4°C	症例3	0.88	1.40	症例3	4°C
12時間後	4°C	症例4	0.57	19.51	症例4	4°C
12時間後	22°C	症例1	1.76	58.38	症例1	22°C
12時間後	22°C	症例2	0.73	5.56	症例2	22°C
12時間後	22°C	症例3	0.89	1.41	症例3	22°C
12時間後	22°C	症例4	0.57	19.53	症例4	22°C
12時間後	56°C	症例1	1.68	59.64	症例1	56°C
12時間後	56°C	症例2	0.72	5.75	症例2	56°C
12時間後	56°C	症例3	0.88	1.41	症例3	56°C
12時間後	56°C	症例4	0.57	19.71	症例4	56°C
24時間後	4°C	症例1	1.77	58.30	症例1	4°C
24時間後	4°C	症例2	0.72	5.44	症例2	4°C
24時間後	4°C	症例3	0.88	1.40	症例3	4°C
24時間後	4°C	症例4	0.56	19.38	症例4	4°C
24時間後	22°C	症例1	1.74	56.46	症例1	22°C
24時間後	22°C	症例2	0.80	5.39	症例2	22°C
24時間後	22°C	症例3	0.91	1.15	症例3	22°C
24時間後	22°C	症例4	0.57	19.30	症例4	22°C
24時間後	56°C	症例1	1.66	58.82	症例1	56°C
24時間後	56°C	症例2	0.72	5.69	症例2	56°C
24時間後	56°C	症例3	0.88	1.42	症例3	56°C
24時間後	56°C	症例4	0.57	19.66	症例4	56°C
48時間後	4°C	症例1	1.75	58.59	症例1	4°C
48時間後	4°C	症例2	0.72	5.46	症例2	4°C
48時間後	4°C	症例3	0.88	1.39	症例3	4°C
48時間後	4°C	症例4	0.56	19.43	症例4	4°C
48時間後	22°C	症例1	1.72	50.70	症例1	22°C
48時間後	22°C	症例2	0.93	3.03	症例2	22°C
48時間後	22°C	症例3	0.91	0.52	症例3	22°C
48時間後	22°C	症例4	0.58	18.98	症例4	22°C
48時間後	56°C	症例1	1.63	58.50	症例1	56°C
48時間後	56°C	症例2	0.73	5.66	症例2	56°C
48時間後	56°C	症例3	0.90	1.37	症例3	56°C
48時間後	56°C	症例4	0.57	19.70	症例4	56°C

2 慶應義塾大学の生データ

表1 前日夕食後の空腹時間の測定値に及ぼす影響

I-a.-i 空腹時間

		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c		
食後9時間	男1	16	12	13	59	46	88	107	5.1	男1	食後9時間
食後9時間	男2	21	20	26	87	50	132	119	4.9	男2	食後9時間
食後9時間	女1	15	12	20	23	77	72	98	4.5	女1	食後9時間
食後9時間	女2	14	10	13	185	59	102	99	4.9	女2	食後9時間
食後10時間	男1	17	12	13	62	46	85	106	5.1	男1	食後10時間
食後10時間	男2	23	21	24	80	50	129	120	4.9	男2	食後10時間
食後10時間	女1	16	11	20	21	78	72	96	4.4	女1	食後10時間
食後10時間	女2	13	10	13	86	62	103	102	4.7	女2	食後10時間
食後11時間	男1	16	12	13	66	45	84	105	5.2	男1	食後11時間
食後11時間	男2	23	21	24	80	50	129	118	4.9	男2	食後11時間
食後11時間	女1	16	12	18	23	79	71	99	4.4	女1	食後11時間
食後11時間	女2	13	10	13	86	62	103	98	4.8	女2	食後11時間

表2 朝食の検査測定値に及ぼす影響

I-a.-ii 朝食の影響

		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c		
食前	男1	21	19	23	132	54	118	120	5.2	男1	食前
食前	男2	19	14	12	79	49	100	105	5.3	男2	食前
食前	女1	14	10	20	30	83	78	99	4.6	女1	食前
食前	女2	18	10	23	44	99	48	110	4.9	女2	食前
食後3時間	男1	23	20	23	159	55	118	116	5.1	男1	食後3時間
食後3時間	男2	18	13	13	113	46	94	93	5.2	男2	食後3時間
食後3時間	女1	14	12	23	37	89	81	93	4.6	女1	食後3時間
食後3時間	女2	17	10	22	46	95	44	102	4.9	女2	食後3時間
食後6時間	男1	23	20	24	103	54	121	115	5.1	男1	食後6時間
食後6時間	男2	19	13	12	88	46	95	95	5.3	男2	食後6時間
食後6時間	女1	13	11	20	29	84	75	94	4.7	女1	食後6時間
食後6時間	女2	18	10	21	53	92	43	90	5.0	女2	食後6時間

男1 洋食
 男2 洋食
 女1 和食
 女2 軽食

表3 採血から遠心分離までの温度と時間の測定値に及ぼす影響

I-b. 採血から遠心分離までの時間

		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	
直後	男1	16	12	13	59	46	88	107	男1
直後	男2	21	20	26	87	50	132	119	男2
直後	女1	15	12	20	23	77	72	98	女1
直後	女2	14	10	13	185	59	102	99	女2
6時間	男1	15	12	14	59	48	90	104	男1
6時間	男2	20	20	26	87	53	135	116	男2
6時間	女1	16	11	21	23	80	75	99	女1
6時間	女2	13	10	14	178	61	100	100	女2
12時間	男1	17	11	15	59	49	90	104	男1
12時間	男2	22	20	26	85	53	134	115	男2
12時間	女1	17	11	21	23	81	75	97	女1
12時間	女2	13	10	14	176	61	101	98	女2
24時間	男1	16	12	14	60	52	89	104	男1
24時間	男2	21	20	26	87	56	132	114	男2
24時間	女1	15	10	20	24	86	77	96	女1
24時間	女2	12	10	14	173	63	96	99	女2
48時間	男1	17	12	16	61	57	87	97	男1
48時間	男2	21	21	29	86	60	132	113	男2
48時間	女1	16	11	23	24	93	79	93	女1
48時間	女2	13	10	15	183	72	94	94	女2

表4 検体の振動の測定値に及ぼす影響

I-c.振動の影響

		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c	
振盪せず	男1	14	10	13	185	59	102	99	5.3	男1
振盪せず	男2	21	20	26	87	50	132	119	5.4	男2
振盪せず	女1	15	12	20	23	77	72	98	5.0	女1
振盪せず	女2	16	12	13	59	46	88	107	5.3	女2
振盪5分	男1	14	10	13	180	58	102	98	5.2	男1
振盪5分	男2	22	20	25	89	51	131	118	5.4	男2
振盪5分	女1	16	11	20	24	78	73	99	5.0	女1
振盪5分	女2	17	12	13	59	48	89	105	5.2	女2

表5 血清分離から分析までの温度と時間の測定値に及ぼす影響

I-d. 分離から分析までの時間

条件		AST	ALT	GGT	TG	HDLC	LDLC	Glu	HbA1c				
直後	男1	20	18	24	131	56	116	117	5.2	男1	直後		
直後	男2	30	30	60	117	48	138	91	5.3	男2	直後		
直後	女1	23	39	33	204	53	152	99	5.0	女1	直後		
直後	女2	19	18	15	104	50	177	103	5.2	女2	直後		
24時間	4°C	男1	20	18	24	131	56	117	111	5.1	男1	4°C	24時間
24時間	4°C	男2	30	30	58	115	48	136	89	5.4	男2	4°C	24時間
24時間	4°C	女1	23	39	35	200	53	149	95	4.9	女1	4°C	24時間
24時間	4°C	女2	19	18	15	103	50	175	102	5.2	女2	4°C	24時間
24時間	22°C	男1	20	18	24	130	59	116	111	5.2	男1	22°C	24時間
24時間	22°C	男2	30	30	61	113	53	134	87	5.4	男2	22°C	24時間
24時間	22°C	女1	23	39	33	204	55	147	96	5.0	女1	22°C	24時間
24時間	22°C	女2	19	18	18	103	52	177	101	5.2	女2	22°C	24時間
48時間	4°C	男1	19	18	24	130	55	116	111	5.2	男1	4°C	48時間
48時間	4°C	男2	29	29	56	114	47	134	88	5.4	男2	4°C	48時間
48時間	4°C	女1	23	38	35	201	52	154	104	5.0	女1	4°C	48時間
48時間	4°C	女2	18	17	16	106	49	176	102	5.2	女2	4°C	48時間
48時間	22°C	男1	19	18	24	128	58	112	111	5.3	男1	22°C	48時間
48時間	22°C	男2	29	28	57	109	53	132	88	5.4	男2	22°C	48時間
48時間	22°C	女1	21	38	36	195	53	140	104	5.0	女1	22°C	48時間
48時間	22°C	女2	19	18	14	103	51	173	102	5.3	女2	22°C	48時間
72時間	4°C	男1	19	18	24	131	55	116	112	5.2	男1	4°C	72時間
72時間	4°C	男2	29	29	56	115	47	136	87	5.4	男2	4°C	72時間
72時間	4°C	女1	23	38	32	202	52	152	104	5.0	女1	4°C	72時間
72時間	4°C	女2	19	17	14	101	49	176	102	5.2	女2	4°C	72時間
72時間	22°C	男1	19	17	24	127	59	111	110	5.3	男1	22°C	72時間
72時間	22°C	男2	28	28	57	105	53	131	87	5.4	男2	22°C	72時間
72時間	22°C	女1	22	37	33	196	52	137	102	5.0	女1	22°C	72時間
72時間	22°C	女2	17	17	14	102	51	171	100	5.3	女2	22°C	72時間

表6 血糖値におけるNaF混和条件が測定値に及ぼす影響

血糖管におけるフッ化Naの溶解条件

転倒混和回数

遠心分離までの時間	0回	2回	5回	10回			
直後	男1	121	121	120	120	男1	直後
直後	男2	107	104	106	105	男2	直後
直後	女1	99	99	99	99	女1	直後
直後	女2	108	109	110	110	女2	直後
6時間後	男1	109	109	108	110	男1	6時間後
6時間後	男2	96	94	96	94	男2	6時間後
6時間後	女1	89	89	88	87	女1	6時間後
6時間後	女2	99	101	100	102	女2	6時間後
24時間後	男1	91	107	108	111	男1	24時間後
24時間後	男2	111	98	93	94	男2	24時間後
24時間後	女1	88	89	87	83	女1	24時間後
24時間後	女2	88	99	100	100	女2	24時間後
48時間後	男1	107	108	110	110	男1	48時間後
48時間後	男2	95	93	97	95	男2	48時間後
48時間後	女1	89	17	87	87	女1	48時間後
48時間後	女2	98	100	100	95	女2	48時間後

※48時間後、女1、2回混和のデータが異常に低値であるが、再検して確認すみ

表7 尿検体の保存の影響

II. 尿検体の保存

		蛋白 ブドウ糖				
直後		症例1	1+	2+	症例1	直後
直後		症例2	1+	1+	症例2	直後
直後		症例3	1+	2+	症例3	直後
直後		症例4	3+	3+	症例4	直後
6時間後	4°C	症例1	1+	2+	症例1	4°C
6時間後	4°C	症例2	1+	1+	症例2	4°C
6時間後	4°C	症例3	1+	2+	症例3	4°C
6時間後	4°C	症例4	2+	3+	症例4	4°C
6時間後	22°C	症例1	1+	2+	症例1	22°C
6時間後	22°C	症例2	1+	1+	症例2	22°C
6時間後	22°C	症例3	1+	2+	症例3	22°C
6時間後	22°C	症例4	2+	3+	症例4	22°C
6時間後	56°C	症例1	1+	2+	症例1	56°C
6時間後	56°C	症例2	1+	1+	症例2	56°C
6時間後	56°C	症例3	1+	2+	症例3	56°C
6時間後	56°C	症例4	3+	3+	症例4	56°C
12時間後	4°C	症例1	1+	2+	症例1	4°C
12時間後	4°C	症例2	1+	1+	症例2	4°C
12時間後	4°C	症例3	1+	2+	症例3	4°C
12時間後	4°C	症例4	3+	3+	症例4	4°C
12時間後	22°C	症例1	1+	2+	症例1	22°C
12時間後	22°C	症例2	1+	1+	症例2	22°C
12時間後	22°C	症例3	1+	2+	症例3	22°C
12時間後	22°C	症例4	2+	3+	症例4	22°C
12時間後	56°C	症例1	1+	2+	症例1	56°C
12時間後	56°C	症例2	1+	1+	症例2	56°C
12時間後	56°C	症例3	1+	2+	症例3	56°C
12時間後	56°C	症例4	3+	3+	症例4	56°C
24時間後	4°C	症例1	1+	2+	症例1	4°C
24時間後	4°C	症例2	1+	1+	症例2	4°C
24時間後	4°C	症例3	1+	2+	症例3	4°C
24時間後	4°C	症例4	2+	3+	症例4	4°C
24時間後	22°C	症例1	1+	2+	症例1	22°C
24時間後	22°C	症例2	1+	1+	症例2	22°C
24時間後	22°C	症例3	1+	2+	症例3	22°C
24時間後	22°C	症例4	3+	3+	症例4	22°C
24時間後	56°C	症例1	1+	2+	症例1	56°C
24時間後	56°C	症例2	1+	1+	症例2	56°C
24時間後	56°C	症例3	1+	2+	症例3	56°C
24時間後	56°C	症例4	2+	3+	症例4	56°C
48時間後	4°C	症例1	1+	2+	症例1	4°C
48時間後	4°C	症例2	1+	1+	症例2	4°C
48時間後	4°C	症例3	1+	2+	症例3	4°C
48時間後	4°C	症例4	2+	3+	症例4	4°C
48時間後	22°C	症例1	1+	2+	症例1	22°C
48時間後	22°C	症例2	1+	1+	症例2	22°C
48時間後	22°C	症例3	1+	1+	症例3	22°C
48時間後	22°C	症例4	2+	3+	症例4	22°C
48時間後	56°C	症例1	1+	2+	症例1	56°C
48時間後	56°C	症例2	1+	1+	症例2	56°C
48時間後	56°C	症例3	1+	2+	症例3	56°C
48時間後	56°C	症例4	2+	3+	症例4	56°C